

# 平成30年度 学校自己評価表

計画段階・実施段階

91

福岡県立鞍手高等学校長 印  
(定時制課程)

学校運営計画(4月)				
学校運営方針				
基礎的・基本的な学習の学び直しを中心に、意欲的に学ぶ態度を育て、社会的自立の基盤となる確かな学力の育成に努める。				
より深い生徒理解に努めるとともに、健康・安全の指導を充実させる。				
個に応じた進路指導を行い、希望進路実現に対する意識の高揚を図る。				
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標	評価(3月)	
生徒と教師の信頼関係に基づく取り組みにより、授業規律の確立と問題行動の防止等の面で着実に成果が表れている。今年度はさらに、基礎学力の定着を図り、生徒が主体的に進路選択ができ、社会に受け入れられる人材育成を中心に、活力ある学校づくりを推進する。	基礎学力の育成を行う。	授業改善を図り、生徒が自ら学ぼうとする授業を目指す。		
	円滑な進級・卒業と特別活動の充実を図る。	出席不振者や成績不振者の指導・改善に努める。		
	より深く生徒を理解し、生徒相互、生徒・職員間のよりよい信頼関係をつくる。	日常的に生徒に関する情報や意見の交換を行い、共通理解のもと、全職員で指導を行う		
	生徒の心身の健康状態の把握に努める。	個人面談や学校生活アンケートをもとに、生徒の生活状況を把握し、健康な学校生活が送れるよう支援する。		
	生徒の自主的な進路選択を支援する。	早期に進路希望を把握し、その実現に向けた支援を行う。		
	生徒一人ひとりを大切に、人権が尊重される環境づくりに取り組む。	学期ごとに全職員で個人面談を行い、生徒一人ひとりの把握に努める。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教 務	確かな学力の育成	授業改善を図り魅力ある授業を行い、授業への意欲を喚起する。 提出物などで理解度や学習状況を把握する。 皆勤・精勤の表彰を年3回行い、出席状況の改善を目指す。		
	円滑な進級・卒業と特別活動の充実	出席不振者や成績不振者の指導・改善に努める。 総合的な学習の時間やホームルーム活動を通して興味・関心を引き出す。 家庭や事業所等との連絡を密にする。		
生徒指導	生徒一人一人の内面理解を深め、生徒の個性や可能性を引き出せるよう努める。	挨拶や言葉かけを教師側から意識して働きかける。 日常的な情報交換、定期的な個人面談やアンケート等による生徒の抱える問題や悩みへの迅速かつ丁寧な対応を行う。		
	生徒の規範意識を高め、規律ある学校生活に努める。	挨拶の徹底を強化し、率先して挨拶のできる生徒育成に努める。 言語に対する意識の指導に当たり、言語環境を整える。		
	思いやりの心を育み、安心・安全な学校を推進する。	協同学習を基盤としたアクティブ・ラーニングを実践し、コミュニケーション能力やより良い人間関係を構築する。		
進路指導	生徒の自主的な進路選択を支援する。	生徒自らの能力や適正を自覚させるためにも、在学中の就業の促進を図る。 卒業予定者に対しては、早期に進路希望を把握し、その実現に向けて支援をする。		
	生徒への細やかな進路情報の提供に努める。	職業安定所との連携を深め、就職希望生徒への就職支援を行う。 職業安定所との連携を深め、就職に関する情報の収集に努める。 学校見学会等に参加し進学に関する資料の充実を図る。		
	心身の健康の保持増進を図る。	定期健康診断の意義を周知し、全員受診を目指す。 相談しやすい環境を整え、健康相談を行う。		
保 健	給食喫食率の向上を目指す。	給食献立の工夫をし、残食減を目指す。挨拶の徹底をする。		
	環境整備と美化に努める。	換気、採光、照明等を整え、学習に適した環境を作る。		
部 活 動	自主的、自発的に行うことでスポーツに生涯親しむ態度を育てるとともに健康増進、体力向上を図る。	組織の中で周囲と協力・連携し、コミュニケーション能力を身につけることで個性を伸ばし、責任感を養わせる。 個に応じた指導を行い、運動技術の向上と体力の強化を図る。 全員が目標設定を行い、練習を充実させ、大会等で成果を発揮させる。		
	人権教育を通して、育てたい資質・能力、知的理解、人権感覚を育成する。	人権・同和教育の充実を図るとともに生徒が主体的に参加できる機会を意図的に設ける。 人権・同和教育に関する校内外の研修会に積極的に参加する。		
人権・同和教育担当	生徒一人ひとりの実態を把握し、進路保障に努める。	事例研究会や日頃の職員間の情報共有を充実させ、生徒理解を深める。 事務室と連携し、生徒の経済的支援状況を把握する。 保護者と連携を図り、進路保障に努める。		